

## 令和5年第2回区議会定例会補正予算案の主な事業項目

## 基本目標1 あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現

- 1 子供を対象とした日本語学習支援
- 2 ヤングケアラー支援
- 3 母子健康診査
- 4 保育委託
- 5 こどもクラブ整備助成
- 6 生涯学習センター機能強化等改修

## 基本目標2 いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現

- 7 地域による介護予防活動への支援（介護保険会計）
- 8 重度障害者等就労支援

## 基本目標3 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現

- 9 江戸たいとう魅力発信
- 10 観光プロモーションの推進【文化資源の高付加価値化】
- 11 観光プロモーションの推進【アニメ・ツーリズムの推進】
- 12 海外プロモーション推進

## 基本目標4 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現

- 13 たいとう 関東大震災100年事業
- 14 喫煙等マナー向上の推進／公衆喫煙所の整備
- 15 上野地区まちづくり推進
- 16 浅草地区まちづくり推進
- 17 北部地区まちづくり推進
- 18 自転車安全利用促進
- 19 魅力ある公園の整備／さわやかトイレ整備

## 多様な主体と連携した区政運営の推進

- 20 新たな情報化施策の取組について  
新たなAI技術の活用検討／行政データの利活用の推進／  
情報化施策の推進／職員のICTリテラシー向上

## その他の主な事業

- 21 帯状疱疹ワクチン接種費助成／おたふくかぜ予防接種費助成
- 22 私立幼稚園預かり保育推進補助
- 23 保育所等を利用する多子世帯への支援

※事業項目により、複数事業をまとめて掲載している場合があります。

## 事業名

1 子供を対象とした日本語学習支援

## 補正予算額

186万円

## ここがPOINT！

▽ 外国人の子供に対する日本語教室を実施



## 事業概要

## 背景

- ▶ コロナ禍で一時減少していた在住外国人が再び増加に転じており、日本語の理解が十分ではない方への日本語学習支援の重要度が増している。

## 目的

- ▶ 学校生活やコミュニケーションに必要な基礎的な日本語の習得を支援するため、外国人の子供を対象とした日本語教室を実施する。

## 事業内容

- ▶ 内 容 ひらがな・カタカナの読み書きや挨拶、簡単な日常会話など、学校生活や社会生活に必要な基礎的な日本語の学習
- ▶ 期 間 ①9月～11月 ②令和6年1月～3月
- ▶ 授業日数 各12日間（週1日程度・1日2時間）
- ▶ 対象者 区内在住・在学の6歳～15歳の子供
- ▶ 場 所 台東区生涯学習センター
- ▶ 定 員 各30名程度
- ▶ 費 用 無料

## スケジュール

- ▶ 令和5年8月 受講者募集開始
- ▶ 令和5年9月 授業開始

担当課:人権・多様性推進課  
電話:03-5246-1115

事業名

2 ヤングケアラー支援

補正予算額

566万円

ここがPOINT!

- ▽ ヤングケアラーに関する実態調査を実施
- ▽ リーフレット作成の他、職員等向け研修会の実施



事業概要

背景

- ▶ ヤングケアラーとは、「本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のこと」を指し、勉強や遊びに対する時間がとれず、本来守られるべき子供の権利が侵害されている可能性がある。
- ▶ ヤングケアラーの問題については、「家庭内のデリケートな問題に関わること」や「本人や家族に自覚がない」といった理由から、表面化しにくい構造になっている。

目的

- ▶ アンケート調査を通じて、子供たちに気づきを促すとともに、区内におけるヤングケアラーの実態を把握し、きめ細やかな支援につなげていく。

事業内容

- ▶ 実態調査
  - ・ 調査対象  
区内在住又は在学の小・中学生、区内在住の高校生等（約10,400人）
  - ・ 調査方法  
ウェブを活用した無記名のアンケート方式
- ▶ 啓発用リーフレット  
ヤングケアラーに関する認知度の向上を図るためにリーフレットを配布
- ▶ 職員等向け研修会  
区職員や教職員に向けたヤングケアラーに関する研修会の実施

担当課:子ども家庭支援センター  
電話:03-5824-2537



## 事業名

3 母子健康診査

## 補正予算額

1,697万円

## ここがPOINT!

- ▽ 妊婦超音波検査の公費負担を拡充!
- ▽ 低所得者に対する初回産科受診料を助成!



## 事業概要

### 背景

- ▶ 妊婦に対する健康診査のうち、超音波検査の望ましい回数は4回とされているが、現在区の公費負担は2回である。
- ▶ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援においては、妊娠届出を早期に受理し、支援を開始することが重要であるが、経済的な理由等により初回の産科受診をためらうケースが存在する。

### 目的

- ▶ 超音波検査の公費負担回数を望ましい基準である4回に引き上げ、安心して妊娠・出産が出来る体制の確保に寄与する。
- ▶ 経済的な負担の軽減はもとより、産科受診を促し早期に伴走型相談支援に繋げる。

### 事業内容

- ▶ 超音波検査の公費負担の拡充  
妊婦超音波検査受診票を母子健康手帳交付時に4枚交付する。  
※すでに2枚交付を受けている場合は追加で2枚交付  
対象者：令和5年4月以降に妊娠届を提出した妊婦
- ▶ 低所得者に対する初回産科受診料助成  
初回の産科受診料の一部または全部を補助する。  
対象者：住民税非課税世帯等で、令和5年4月以降に初回の産科受診料を支払った妊婦

### スケジュール

- ▶ 令和5年7月 事業開始

担当課:保健サービス課  
電話:03-3847-9441

事業名

4 保育委託

補正予算額

8,171万円

## ここがPOINT！

- ▽ 年間を通し、保育園に児童を預けやすい体制を確保
- ▽ 0歳児及び1歳児の定員未充足分の保育運営費を加算



## 事業概要

## 背景

- ▶ 0歳児及び1歳児について、年度当初には定員に対する未充足が生じるが、4月以降の出生や育児休業からの復帰等により、年度末には空き定員が減少する傾向にある。
- ▶ 保育所等に対する運営費については、在籍児童数に応じて給付するため、未充足分に応じた児童の受け入れに要する経費を支援する必要がある。

## 目的

- ▶ 0歳児及び1歳児の受け入れを実施する保育所等に対し、児童の持続的な受け入れを可能にするための支援を実施することによって、保護者が児童を預けやすい体制を確保する。

## 事業内容

- ▶ 0歳児及び1歳児の定員未充足分の保育運営費を加算
  - ・対象施設  
認可保育所、認定こども園、小規模保育所、家庭的保育事業、事業所内保育所
  - ・対象期間  
4月～9月

担当課: 児童保育課  
電話: 03-5246-1238

## 事業名

5 こどもクラブ整備助成

## 補正予算額

1,995万円

## ここがPOINT！

▽ 令和6年度に民設こどもクラブを新たに1か所  
開設予定

## 事業概要

## 背景

- ▶ こどもクラブ（学童保育）の待機児童解消に向けて、「台東区こどもクラブ待機児童対策緊急3か年プラン」に基づき、こどもクラブの新設等の対策を進めている。
- ▶ 令和5年4月現在のこどもクラブ申請者数・待機児童数はプランでの予測を上回る結果となり、待機児童の解消に向けて、さらなる対策が必要となっている。

## 目的

- ▶ こどもクラブの需要が特に増加している地域に民設こどもクラブを誘致・新設し、待機児童の解消を図る。

## 事業内容

- ▶ 民設こどもクラブ設置運営事業者に対し、施設整備等に要する費用を助成する。  
【整備予定地域】 上野小学校、大正小学校、松葉小学校、金竜小学校の周辺地域  
【整備予定数】 1か所  
【定員規模】 40人から60人程度

## スケジュール

- ▶ 令和5年7月 設置運営事業者の公募開始
- ▶ 令和6年4月以降 民設こどもクラブ開設

担当課: 児童保育課放課後対策担当  
電話: 03-5246-1440



## 事業名

6 生涯学習センター機能強化等改修

## 補正予算額

5,842万円

## ここがPOINT!

▽ 生涯学習センターの老朽化対応に併せ機能を強化



## 事業概要

### 背景

- ▶ 平成13年の開設から約20年が経過し、施設の老朽化対応が必要となっている。
- ▶ 人生100年時代の到来やDXの急速な進展など社会の変化とともに人々の意識や生活様式も変容しており、区を取り巻く課題も複雑化・高度化することが予想されることから、時代の変化に対応した多様な学習機会を提供していく必要がある。

### 目的

- ▶ 上記の課題に対応するため、「台東区生涯学習推進計画」の基本理念及び基本目標を踏まえ、3つの方向性「誰もが学習に取り組める環境の整備」「学びを継続するためのICT環境の充実」「学びと活動の循環の促進」に基づき、生涯学習センターの機能強化等改修を行い、将来にわたって多くの区民が自ら学び続けることができる環境を整備する。

### 事業内容

- ▶ 中央図書館のリニューアルや「区民ギャラリー」、「スポーツコーナー」の新設などの機能強化を行う。また「会議室への電子黒板の導入」や「Wi-Fiの整備」を行い、区民が学習する際のICT環境を充実させる。
- ▶ 老朽化対応として空調や消防設備の更新等を実施。
- ▶ 環境配慮対応として照明器具のLED化や太陽光パネルの設置等を実施。

### スケジュール

- ▶ 令和5年7月～令和6年2月 実施設計
- ▶ 令和6年7月～令和8年 改修工事
- ▶ 令和8年 リニューアルオープン

担当課:生涯学習課  
電話:03-5246-5810



## 事業名

7 地域による介護予防活動への支援(介護保険会計)

## 補正予算額

79万円

## ここがPOINT!

- ▽ 住民主体のフレイル予防の取り組みを推進
- ▽ 高齢者の社会参加・生きがいづくりを促進



フレイルチェックの様子 (イメージ)

## 事業概要

## 背景

- ▶ 社会とのつながりを継続することがフレイル予防の一つとなっていることから、高齢者自身の活躍の場を創出し、社会参加、新たな生きがいづくりの促進が求められている。

## 目的

- ▶ フレイル予防を推進するボランティア「フレイルサポーター」を養成し、介護予防教室等で活動してもらうことで、高齢者が早期に自身の状態に気づき、行動変容につながる住民主体のフレイル予防の取り組みを推進する。
- ▶ フレイルサポーターの活動を通して、住民同士のつながりや、高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進を図る。

## 事業内容

- フレイルサポーターを養成し、介護予防教室等において活動の機会を提供する。
- ▶ フレイルサポーター養成講座の実施  
区内在住・在勤者を対象にフレイルの基礎知識やフレイルチェックの実技などを学ぶ講座を行う。
  - ▶ サポーターによるフレイルチェックの実施  
介護予防教室等において、質問票や測定機器を用いたフレイルチェックを行う。

## スケジュール

- ▶ 令和5年7月以降  
フレイルサポーター養成講座の実施  
フレイルチェックの実施

担当課: 高齢福祉課  
電話: 03-5246-1295



**事業名** 8 重度障害者等就労支援

**補正予算額** 1,194万円

**ここがPOINT!**

▽ 自営業や企業で働く重度障害者等に対して、通勤や職場等における支援を実施



**事業概要**

**背景**

- ▶ 現行の障害福祉サービス（重度訪問介護・同行援護・行動援護）では、通勤中や就労時間中のヘルパーによる支援は「経済活動」にあたるため、利用することができない。

**目的**

- ▶ 重度障害者等が就労する場合に必要な身体介護等の支援を行うことにより、就労の機会や働き方の選択肢の拡大及び社会参加の促進を図る。

**事業内容**

- ▶ 企業が障害者雇用納付金制度に基づく助成金（雇用助成金）を活用した職場介助や通勤援助をしても、さらに支援を必要とする場合や、重度障害者等が自営業者として働く場合等に、通勤や職場での身体介護等の支援を行う。

	支援内容	雇用助成金による支援	本事業による支援
民間企業に雇用されている方	職場介助	業務に必要な介助等 ①文書の朗読や作成 ②機器の操作や入力 等	重度訪問介護、同行援護、行動援護と同等の支援（喀痰吸引、水分補給、見守り支援、移動介助、等）
	通勤援助	通勤時の身体介助 ※各年度3か月まで	通勤時の身体介助 ※各年度4か月目以降から
自営業者等	職場介助	(対象外)	重度訪問介護、同行援護、行動援護と同等の支援に加えて、業務に必要な介助等
	通勤援助	(対象外)	通勤時の身体介助

**スケジュール**

- ▶ 令和5年7月 事業開始

担当課:障害福祉課  
電話:03-5246-1211

**事業名** 9 江戸たいとう魅力発信

**補正予算額** 327万円

**ここがPOINT!**

- ▽ 学びの視点で、講演会や講座、ガイドツアーなどを実施
- ▽ 本区に息づく江戸文化を広く発信



寛永寺根本中堂

**事業概要**

**背景**

- ▶ 本区には江戸から続く伝統行事や神社仏閣、名所旧跡の数々があり、まちや人々の暮らしの中には今もなお、江戸のころと文化が息づいている。
- ▶ 平成30年度から令和3年度にかけて、江戸の文化や資源を発信する「江戸ルネサンス事業」を展開してきた。
- ▶ 今年は、徳川家康を主人公とする大河ドラマが放送されるなど、江戸の歴史や文化に注目が集まっている。

**目的**

- ▶ 江戸から続く伝統・文化などの地域資源「江戸たいとう」の魅力を区内外に発信することにより、区民の誇りや郷土を愛する心を育むとともに、地域の活性化を図る。

**事業内容**

- ▶ **学び**の視点から「江戸たいとう」魅力発信事業「**江戸・たいとう学**」を展開する。
  - キックオフイベント  
田中優子氏（法政大学元総長）による基調講演会及びトークセッション
  - 講演から**学ぶ**【連続講演会】  
江戸期における歴史・文化に関する専門家を招いた全8回の講演会
  - 文化財から**学ぶ**【上野東照宮特別公開】  
通常非公開の社殿（国指定重要文化財）を3日間限定で公開
  - 古文書から**学ぶ**【古文書解読講座】  
江戸期に書かれた古文書等から歴史や風習などを読み解く
  - まちから**学ぶ**【ガイドツアー】  
浮世絵や古地図を手に、上野と浅草に残る江戸の痕跡を巡る

**スケジュール**

- ▶ 令和5年9月 キックオフイベント開催



担当課:文化振興課  
電話:03-5246-1145

## 事業名

10 観光プロモーションの推進 【文化資源の高付加価値化】

## 補正予算額

598万円

## ここがPOINT!

- ▽ 令和4年度より開始した事業を拡充!
- ▽ 観光の力を活用した「文化資源の保存と活用」



令和4年度実施内容（上野東照宮）

## 事業概要

## 背景

- ▶ 日本政府によるインバウンド解禁、新型コロナウイルス感染症5類移行により、本区を訪れる観光客は増加傾向にある（令和3年の区内観光客数は2,013万人と推計）。一方で、3年にも及ぶコロナ禍は、本区の文化・観光産業に甚大なダメージを及ぼした。
- ▶ コロナ禍での体験を教訓として、観光の視点から文化資源の保存と活用を図り、持続可能な地域振興を推し進める。

## 目的

- ▶ アフターコロナを見据えた観光の本格的な復興に向け、有形無形の区内文化資源に旅行商品として新たな視点から付加価値を加えることで、保存と活用の両立を図り、観光の持続的発展を推進する。

## 事業内容

- ▶ 文化資源の磨き上げと活用方法を検証するため、一般旅行者、旅行事業者、観光ガイド等を対象としたモニターツアーを実施する。
- ▶ 文化資源の魅力・価値を正しく伝えられる観光ガイドの人材育成に向けた研修会を実施する。インバウンドを含めた今後の観光需要回復を見据え、通訳案内士やボランティアガイドを育成・支援する。

## スケジュール

- ▶ 令和5年秋～  
モニターツアー実施  
観光ガイド育成事業実施



有償観光ガイド育成事業の様子（令和4年度）

担当課:観光課  
電話:03-5246-1150

## 事業名

11 観光プロモーションの推進【アニメ・ツーリズムの推進】

## 補正予算額

514万円

## ここがPOINT!

▽ 令和5年4月～放映の新作アニメと  
タイアップ!©Sirius/Project WDS  
『ワールドダイスター』ビジュアル

## 事業概要

## 背景

- ▶ これまで本区では、区を舞台としたアニメ作品のマンホール蓋やラッピングポスト等を設置し、新たな観光資源として区内回遊の促進に活用してきた。
- ▶ 令和5年4月よりTOKYO MX・各動画配信サービス等で放映・配信中の新作アニメ『ワールドダイスター』は浅草を舞台としており、区内各地が作品内に登場する。

## 目的

- ▶ 台東区を舞台とした新作アニメを活用し、新たな客層への来訪意欲喚起と広域的な誘客を促すため、デジタルスタンプラリーを実施し、区内観光資源認知度の向上と回遊に伴う観光消費の増加を図る。

## 事業内容

- ▶ 新作アニメ『ワールドダイスター』の舞台である浅草を中心として、作中に登場する各場所及びその近辺に二次元バーコードパネルを置き、スマートフォン等で読み取ることでスタンプを取得できるデジタルスタンプラリーを実施する。

## スケジュール

- ▶ 令和5年 秋頃  
デジタルスタンプラリー実施



©Sirius/Project WDS

『ワールドダイスター』ビジュアル

担当課:観光課

電話:03-5246-1150



## 事業名

12 海外プロモーション推進

## 補正予算額

1,413万円

## ここがPOINT!

▽タイ・バンコクの商業施設で本区事業者の自慢の逸品をPR・販売するテストマーケティングを実施



## 事業概要

## 背景

- ▶ 社会経済活動の本格化に伴い、円安を後押しにした輸出の取り組みなど、国際的な市場開拓のチャンスが、生まれている。
- ▶ タイは日本や日本商品に対する関心が高いことに加え、バンコクはアジアを代表する都市のひとつであり、タイを含む東南アジア諸国への波及効果が期待される。

## 目的

- ▶ 海外での販路開拓や事業展開を支援することで、区内事業者の企業価値の向上と区内産業の活性化を図る。

## 事業内容

タイ・バンコクにおいて、挑戦意欲ある区内中小企業に対し、次の取組みを実施する。

- ▶ 商業施設でのテストマーケティング及び消費者へのアンケート
- ▶ 市内中心部での現地海外バイヤーとの商談会

## スケジュール

- ▶ 令和5年12月～令和6年1月  
テストマーケティング等の実施
- ▶ 令和5年12月  
商談会の実施（2日間程度）



担当課:産業振興課  
電話:03-5246-1196

**事業名** 13 たいとう 関東大震災100年事業

**補正予算額** 7,600万円(各事業合計額)

たいとう 関東大震災100年事業

**ここがPOINT!**

▽ 防災に関するイベント等の実施、防災活動の実践、災害に対する共助・公助の充実や連携を一層図り、総合的に地域防災力を強化



**事業概要**

**背景・事業内容**

- ▶ 関東大震災100年の節目の年であることを機に、大震災に関する情報発信、防災に関するイベント等を実施し、災害の教訓を継承していく。
- ▶ 区民、地域の防災意識の向上や防災活動の実践をさらに促すとともに、災害に対する共助・公助の充実や連携を一層図り、総合的に地域防災力を強化していく。

災害教訓の継承…イベント、配布物を通じて区民への周知・継承を図る

- ①本庁舎をはじめとした区有施設で関東大震災パネル展を実施
- ②関東大震災史跡マップや学習リーフレット等を作成
- ③復興小学校や備蓄倉庫等を見学する遺構・防災体験ツアーを実施
- ④区内16か所の震災復興公園に説明板の設置及びパンフレットを作成

防災意識・防災行動力の向上…体験型訓練等を通じ、自助・共助の取組みを推進する

- ⑤防災フェスタ及びオンライン型防災アトラクションを実施

災害に強いまちづくりの推進…まちづくりの観点から都市復興等の周知・啓発を図る

- ⑥地域住民の復興事業理解促進のため、復興模擬訓練を実施

共助・公助の連携…地域での防災活動や不燃化対策の助成を充実する

- ⑦自主防災組織や集合住宅に対する防災備蓄品の購入等に係る助成を拡充
- ⑧スタンドパイプ・給水栓セットについて全町会で使用可能となるよう整備
- ⑨要配慮者用の簡易ベッドを備蓄
- ⑩SNSに投稿された情報等から効率的に必要な情報を収集するシステムを導入
- ⑪谷中・浅草北部の整備地域における老朽建築物除却費及び建築設計・工事監理費助成を創設
- ⑫不燃化特区における建替え助成を制度拡充し、建築工事費助成を追加

※その他、既定予算において各種関連事業を実施。

担当課: ① ② ③ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩:危機・災害対策課 03-5246-1091  
 ④:公園課 03-5246-1320、⑥:都市計画課 03-5246-1362  
 ⑪:地域整備第二課 03-5246-1376、⑫:地域整備第三課 03-5246-1375



## 事業名

14 喫煙等マナー向上の推進／公衆喫煙所の整備

## 補正予算額

4,035万円(各事業合計額)

## ここがPOINT！

- ▽ 喫煙等マナー指導員を増員し、指導業務を拡充！
- ▽ 新たに公衆喫煙所を整備！



【整備例】金竜公園内公衆喫煙所

## 事業概要

## 背景

- ▶ 区では、喫煙者のマナー啓発のため、「喫煙等マナー指導員」を配置し、巡回指導を行っている。また、屋外における分煙の促進と、たばこのポイ捨て防止のため、公衆喫煙所の整備を推進しており、現在27箇所設置している。しかしながら、健康増進法や東京都受動喫煙防止条例による屋内原則禁煙などにより、屋外における喫煙者が増加するなど、喫煙環境の変化に沿った取り組みが求められている。

## 目的

- ▶ 新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和に伴い、来街者が増加する中、屋外における喫煙者に対応するため、喫煙等マナー指導の強化を図る。
- ▶ 公衆喫煙所を増設し、喫煙する人もしない人も共存できる分煙環境の整備を推進する。

## 事業内容

- ▶ 喫煙等マナー指導員の増員  
【1班2名体制】  
現行：3班 ⇒ 増員後：4班 + 機動班1班
- ▶ 公衆喫煙所の整備  
設置予定地 松葉公園  
構造 コンテナ型 約12㎡

## スケジュール

- ▶ 令和5年7月～ 喫煙等マナー指導員を増員
- ▶ 令和6年3月 公衆喫煙所の運用開始予定

担当課:環境課

電話:03-5246-1280

**事業名** 15 上野地区まちづくり推進

**補正予算額** 2,945万円

**ここがPOINT!**

▽ 上野の杜とまちの回遊性向上に向けて、南北ウォーカブル都市軸の強化を推進



**事業概要**

**背景・目的**

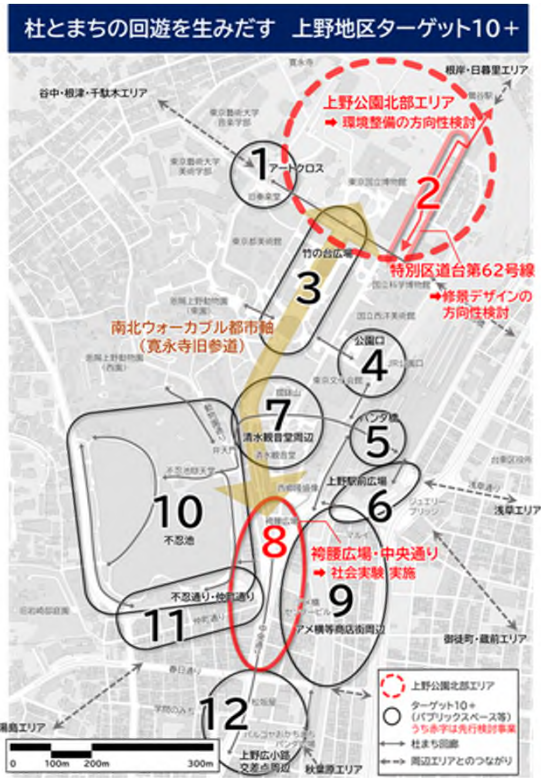
- ▶ 上野地区では、令和2年3月に策定した「上野地区まちづくりビジョン」に掲げる2040年代頃の将来像実現に向けて、上野地区全体における回遊性向上に向けた検討を進めており、歩行者優先でわかりやすく、居心地が良く歩きたくなる都市空間等の創出を図るなど、「上野地区ウォーカブルまちづくり」を推進している。
- ▶ 杜とまちの回遊を生み出す主要スポットとして空間活用の可能性を検討するために設定した「上野地区ターゲット10+」について、その歩行者ネットワーク強化を図るにあたり、ビジョンで掲げる杜とまちをつなぐ南北ウォーカブル都市軸の強化に向けた取組みを進める。

**事業内容**

- ▶ 上野公園北部エリアの環境整備の方向性検討  
当エリアの目指すべき将来像と特別区道台第62号線の修景デザインの方向性検討
- ▶ 袴腰広場・中央通り社会実験実施  
公民連携によるパブリックスペース等の活用可能性検討
- ▶ ウォーカブルまちづくり推進検討  
歩行者の回遊状況及び自動車等の交通環境の調査・分析

**スケジュール**

- ▶ 令和5年下半期 袴腰広場・中央通り社会実験実施
- ▶ 令和5年度 上野公園北部エリア方向性整理



担当課:地域整備第一課  
電話:03-5246-1371

## 事業名

16 浅草地区まちづくり推進

## 補正予算額

1,389万円

## ここがPOINT！

▽ より居心地が良く歩きたくなるウォーカブルなまちづくりの推進のため、社会実験等を実施



## 事業概要

## 背景・目的

- ▶ 浅草地区では、平成19年6月に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」を策定し、国際観光都市にふさわしいまちづくりを進めてきたが、東京スカイツリーの開業や外国人を含む観光客の増加、さらにはコロナ禍によって、本地区を取り巻く状況は、大きく変化している。そこで、今後のまちづくりの方向性を示す「浅草地区まちづくりビジョン」の策定に取り組んでいる。
- ▶ 当地区では、歩行者の一部エリアへの集中や鉄道間の乗換利便性の向上、水辺空間への円滑な誘導等の課題があり、それらの解決に向けた検討を行っている。
- ▶ 回遊性や交通環境の課題解決、まちの魅力の向上などを図る一つの解決策として、「ウォーカブルな空間づくり」が有効であることから、ビジョン策定と並行して、ウォーカブルな空間づくりについて検討し、にぎわいの広がりやネットワーク化を図っていく。

## 事業内容

- ▶ 車両交通量調査の実施  
雷門通り等をウォーカブルな空間にした場合の影響について調査・分析する。
- ▶ 社会実験の実施  
浅草地区の目抜き通りである雷門通りの車道の一部に、仮設の滞留空間を設置し、安全性や効果を調査することで、効果的なウォーカブル空間の将来イメージや道路空間の再編の可能性を検討し、ビジョンに反映させていく。

## スケジュール

- ▶ 令和5年10月～11月頃 社会実験実施
- ▶ 令和5年度 車両交通量調査実施

担当課:地域整備第二課  
電話:03-5246-1376

## 事業名

17 北部地区まちづくり推進

## 補正予算額

737万円  
〔 令和5～6年度債務負担行為  
1,821万円 〕

旧東京北部小包集中局跡地

## ここがPOINT！

▽ 旧東京北部小包集中局跡地の再生に向け、施設活用意向をもった民間事業者発掘等の調査を実施

## 事業概要

## 背景・目的

- ▶ 旧東京北部小包集中局跡地は、地域内外の活力向上に欠かせない大規模区有地であり、北部地区のまちづくりの拠点としての役割が求められていることから、賑わい・交流を生み出す施設を目指し、活用を検討してきた。
- ▶ コロナ禍も落ち着きを見せ始めた昨今の社会経済情勢を踏まえつつ「産業振興」、「賑わい・交流の創出」、「既存公共機能の維持」などの視点で、民間事業者の参入を視野に入れ、既存建物のリノベーションによる跡地の再生を図っていく。

## 事業内容

- ▶ 建物リノベーション調査の実施  
既存建物の活用に必要な工事内容の確認と費用の算出等を行う。
- ▶ 民間活用可能性調査の実施  
施設の活用意向のある民間事業者の発掘のため、民間事業者へのヒアリング等を実施する。また、その結果を踏まえながら、事業手法の検討や施設活用モデルプラン作成を行う。
- ▶ 跡地の概要  
所在地 台東区清川二丁目24番26号  
建物 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階 地下1階  
延床面積 25,422.61㎡

## スケジュール

- ▶ 令和5年度 建物リノベーション調査
- ▶ 令和5～6年度 民間活用可能性調査

担当課:地域整備第二課  
電話:03-5246-1376



事業名

18 自転車安全利用促進

補正予算額

1,084万円

ここがPOINT!

▽ 自転車の安全利用の更なる促進のため、自転車用ヘルメット購入費用助成の実施及びTSマークの取得費用助成を拡充



事業概要

背景

- ▶ 令和5年4月1日の道路交通法の一部改正により、これまで幼児・児童が対象であった自転車利用時のヘルメット着用の努力義務が、全ての自転車利用者に拡大された。
- ▶ 自転車安全整備士が点検・整備した証であるTSマークについて、令和4年12月1日より、付帯保険が充実された「緑色TSマーク」が創設された。

目的

- ▶ 区では現在1歳児に対して幼児用ヘルメットを無償配布しているが、さらに自転車用ヘルメットを購入する区民の負担を軽減することで、全世代に向けてヘルメット着用を促進するとともに、事故時の被害軽減を図る。
- ▶ 区では現在TSマークの取得に対して2,000円の費用助成をしているが、これを拡充することで、「緑色TSマーク」への移行・加入促進を図る。

事業内容

- ▶ 自転車用ヘルメット購入費用助成の実施  
助成額：購入費用に関わらず、上限3,000円
- \* 2歳以上の全区民を対象に、申請に応じて割引券を交付し、協力店舗において自転車用ヘルメットを購入時に、最大3,000円割引を行う。
- ▶ TSマーク取得費用助成の拡充  
現行の「TSマーク取得費用助成」の上限額を、2,000円から2,500円に引き上げる。



スケジュール

- ▶ 令和5年7月 事業周知  
(区公式ホームページ、広報たいとう等)
- ▶ 令和5年8月 事業開始

担当課:交通対策課  
電話:03-5246-1311

## 事業名

19 魅力ある公園の整備／さわやかトイレ整備

## 補正予算額

5,068万円(各事業合計額)

## ここがPOINT!

▽ 多様化するニーズに区内の公園全体で応える  
とともに、安全で快適な公園トイレを整備



公園整備イメージ (天王寺公園)

## 事業概要

### 背景

- ▶ 区内公園の半数が老朽化の目安である30年を経過している。また、社会状況や区民の価値観の変化に伴い、公園に対するニーズは多様化している。
- ▶ 国のバリアフリーのガイドライン（都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン）が、令和4年3月に改定されている。

### 目的

- ▶ 公園を安全に利用できることを前提に、整備にあたっては、多様化するニーズに区内の公園全体で応えていく。また、利用者が公園トイレを安全かつ快適に利用できるよう整備を行う。

### 事業内容

- ▶ 公園の整備にあたり、新たな機能の追加や、立地や利用実態を踏まえた公園の整備を行う。また、公園整備に合わせて、公園トイレを整備する。

#### 【公園】

・設計 1箇所 小島公園

#### 【トイレ】

・設計 2箇所 小島公園、谷中清水町公園

・工事 1箇所 大正公園

(それぞれバリアフリートイレ等を設置)

### スケジュール

- ▶ 令和5年7月～令和6年3月  
公園整備・トイレ整備の設計
- ▶ 令和5年9月～令和6年3月  
大正公園トイレ改築工事



大正公園トイレ整備イメージ

担当課:公園課

電話:03-5246-1320



## 事業名

20 新たな情報化施策の取組について

## 補正予算額

1,508万円(各事業合計額)

## ここがPOINT!

- ▽ AIの実証実験やツール導入を通じ、DXを推進
- ▽ DX推進に向けて人材育成
- ▽ デジタル・ディバイド対策を拡大



## 事業概要

## 背景

- ▶ 情報通信技術が目覚ましく発展する中、デジタル技術を活用して暮らし方や働き方を変革するDXが急速に進んでいる。
- ▶ DXの推進と同時に、デジタル活用に向けた情報格差解消が重要である。

## 目的

- ▶ 区のDXを計画的に進め、区民の利便性向上や業務の効率化を図るため、AIの活用検討、EBPM研修の実施及びBIツールの導入、更なるデジタル・ディバイドの解消、職員のICTリテラシー向上の各施策を実施する。

※EBPM：合理的根拠に基づく効果的な政策を立案する手法

※BIツール：データを分析・可視化して、経営や業務に役立てるソフトウェア

## 事業内容

- ▶ AIの活用検討  
子ども家庭支援センターにおける相談員による電話相談の支援を行うため、AI音声認識機能を備えた[相談業務支援サービスの実証実験](#)を行う。
- ▶ データを活用した区政運営  
職員に対してEBPMの考え方を浸透させるための研修を行う。  
また、効果的・効率的なデータ利活用に向けて、[BIツールを導入](#)する。
- ▶ デジタル・ディバイド対策  
令和4年度から実施しているスマートフォン講座・講師派遣事業に加え、[オンライン手続き等に関する集合形式による講座を開催](#)する。
- ▶ ICTリテラシーの向上  
DXの中心を担う人材育成に向け、[知識やスキルを習得する研修を実施](#)する。

## スケジュール

- ▶ 令和5年9月 BIツールの利用開始  
オンライン手続き等に関する講座の開催  
職員に対するICTリテラシーの向上研修の実施
- 令和5年10月 AI音声認識機能を活用した実証実験開始
- 令和5年11月 EBPM研修の実施

担当課:情報政策課

電話:03-5246-9021

## 事業名

21 带状疱疹ワクチン接種費助成／おたふくかぜ予防接種費助成

## 補正予算額

5,009万円(各事業合計額)

## ここがPOINT!

▽ 区民の健康増進に寄与するため、予防接種事業を拡充



## 事業概要

## 背景

- ▶ 区民のワクチン接種に関する関心の高まりを踏まえ、発病予防及び感染予防を図るため、予防接種事業の拡充に取り組む必要がある。

## 目的

- ▶ 带状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成を行うことで、**带状疱疹の発症予防と区民の健康増進に寄与**する。
- ▶ おたふくかぜワクチンについて、従来の1回目接種に加えて、新たに2回目接種についても一部助成の対象とすることで、**子供を感染症から守るとともに、子育て世代の経済的負担の軽減を図る**。

## 事業内容

任意接種として実施されている带状疱疹ワクチン及びおたふくかぜワクチン（2回目）の**接種費用の一部助成**を行う。

- ▶ 带状疱疹ワクチン接種費助成  
対象者：50歳以上の区民  
助成額（回数）：生ワクチン・4,000円（1回）  
不活化ワクチン・11,000円（2回）
- ▶ おたふくかぜワクチン（2回目）接種費助成  
対象者：小学校就学前年度の児童  
助成額：3,500円（1回目助成と同額）

## スケジュール

- ▶ 令和5年7月下旬 带状疱疹ワクチン申込受付開始  
おたふくかぜワクチン予診票送付
- ▶ 令和5年8月 接種開始

担当課:保健予防課

電話:03-3847-9471

事業名

22 私立幼稚園預かり保育推進補助

予算額

960万円

ここがPOINT!

- ▽ 区内私立幼稚園の預かり保育推進補助を拡充
- ▽ 預かり保育事業の新規実施、拡充を支援



事業概要

背景

- ▶ 区内私立幼稚園における預かり保育事業の充実が進んでおらず、一部の保護者は就労等の理由で入園に踏み切れない状況がある。

目的

- ▶ 私立幼稚園が預かり保育事業の新規実施又は拡充することを支援し、保護者のニーズに対応した教育環境整備の促進を図る。

事業内容

- ▶ 預かり保育推進補助金額を拡充する。

実施区分	早朝	教育時間終了後	夏季休暇中	春季・冬季休暇中
現状	10万円	30万円	10万円	10万円
拡充後	50万円	150万円	70万円	70万円

※補助対象経費(補助上限額) = 補助事業に要した経費 - 都補助相当額 - 預かり保育料収入

担当課:庶務課

電話:03-5246-1401

## 事業名

23 保育所等を利用する多子世帯への支援

## 補正予算額

4,091万円(各事業合計額)

## ここがPOINT!

- ▽ 0歳から2歳までの第2子の保育料等を無償化
- ▽ 第2子以降の保育料等への支援を拡充
- ▽ 台東区独自に令和5年4月より実施



## 事業概要

## 背景

- ▶ 2人以上の複数の子供を持ちたいと願う方々の経済的負担を軽減するため、令和5年10月より、東京都が多子世帯に対して保護者負担額の軽減や利用料の補助等の支援を実施する。
- ▶ 台東区では、物価高騰に直面し、影響を受ける子育て世帯に対する支援を行うため、令和5年4月より先行して実施する。

## 事業内容

## 0歳から2歳までの第2子の保育料等の無償化

- ▶ 認可保育所、認定こども園、小規模保育所、事業所内保育所、家庭的保育事業、児童発達支援事業所等  
【支援の内容】  
0歳から2歳までの第2子の保育料等を無償化する。

## 第2子以降の保育料等への支援の拡充

- ▶ 認証保育所、認可外保育施設  
【支援の内容】  
第2子保育料助成額の上限を、月額5万4,000円から月額6万7,000円へ拡充する。
- ▶ 私立幼稚園  
【支援の内容】  
①第2子以降の満3歳児を有する課税世帯に対する預かり保育利用料について月額1万6,300円を上限に補助する。  
②園児保護者負担軽減事業費補助金及び園児保護者補助金における多子計算に係る年齢制限を緩和する。

担当課:教・庶務課(私立幼稚園等) 電話:03-5246-1401  
学務課(認定こども園) 電話:03-5246-1410  
児童保育課(認可保育所等) 電話:03-5246-1238  
障害福祉課(児童発達支援事業所等) 電話:03-5246-1211